

敦煌寫本研究年報

高田時雄 主編

岩尾一史 副主編
永田知之

第十七號

2023年3月

京都大學人文科學研究所

中國中世寫本研究會

編輯委員

赤木崇敏（東京女子大學）、荒見泰史（廣島大學）、岩尾一史（龍谷大學）、
岩本篤志（立正大學）、大西磨希子（佛教大學）、玄幸子（關西大學）、
坂尻彰宏（大阪大學）、辻正博（京都大學）、永田知之（京都大學）、
道坂昭廣（京都大學）、山口正晃（大手前大學）、山本孝子（廣島大學）

注 記

本號は編輯委員の一人道坂昭廣が研究代表者をつとめる日本學術振興會科學研究費基盤研究（B）「國際的情報發信を目的とした中國典籍日本古寫本に對する精密な研究」の研究成果の一部である。

目次

書儀と罪の意識——死者を悼む言葉の定型化 永田知之	1
野村榮三郎と福井瑞華の内陸アジア・河西域の調査計画（1909-1910） の消滅とその波紋 ——清國新疆省の檔案（官文書）にみえる野村と福井の「轉發護照」 白須淨眞 ..	21
敦煌の功臣たち ——曹氏歸義軍節度使時代の敦煌石窟と供養人像（三） 赤木崇敏	67
敦煌本《釋佛國品手記》與僧、俗講 楊明璋	93
安徽博物院藏北涼《千佛名號》研究 林生海	119
敦煌本 P.3770「俗講莊嚴迴向文」再考 荒見泰史	143
解座文考 高井 龍	163
成尋『參天台五臺山記』と宋代の手紙文 ——文書作成や書儀編纂の方法を知る手がかりとして 山本孝子	187
『瑠玉集』流傳江戸考 富嘉吟	205
PT1249 藏文音寫四分律抄斷片 高田時雄	217
中國國家圖書館所藏の敦煌出土チベット語文書について（一） ——敦煌藏漢對音資料補遺 龔麗坤	227

稿約

- 一、本刊には敦煌吐魯番寫本及び中央亞細亞發見寫本に關する多様な論考を收載するが、また日本古寫本のような中國外の地域に傳承される寫本についてもその採録範圍とする。
- 一、収録論文の採否は編輯委員會の議を経るものとし、原稿の修正を求める場合がある。
- 一、本刊に掲載する論文は、日本語、中國語或いは英語で執筆するものとし、執筆様式については特段の規定を設けないが、各言語において最も普通な方式を採用する。
- 一、本刊に掲載された論文は、原則として京都大學學術情報リポジトリ（KURE-NAI）を通じて、インターネット上で公開される。

〔敦煌寫本研究年報 第十七號〕

2023年3月31日發行

編者 《年報》編輯委員會

發行者 京都大學人文科學研究所
「中國中世寫本研究會」

〒606-8265 京都市左京區北白川東小倉町47

Phone 075-753-6993 Fax 075-753-6999

ISSN 1882-1626